

小中連携だより

令和8年2月 第3号
立川第一中学校区小中連携担当
一中：中山 悠平
一小：松本 武
四小：永田 大志

○小中のつながりを深めることができました！

令和8年1月28日(水)立川市立第四小学校にて今年度最後の小中連携全体会を行いました。

今回も立川市立立川第一中学校、立川市立第一小学校、立川第四小学校の教員が「まなび部会」「からだ部会」「こころ部会」の3つの部会に分かれて、各校での実践の報告、小中で一貫して実践できることなどについて検討しました。また、次年度に向けてどのような連携が子どもたちのためになるのかを話し合い、来年度の小中連携についても協議を行いました。

★まなび部会

まなび部会では国語・数学と算数・社会・理科・英語、外国語の5教科で分かれて話し合いをしました。

【国語】

- ・小中で継続して行える、読書、辞書などを高学年で特に意識するようにしていく。
- ・ビブリアバトルなど読書につながる活動を取り入れていく。
- ・語彙を増やすためにどのようなことを各校が取り組んでいるか。
- ・漢字に苦手意識をもっている子どもたちへの支援方法について。
- ・作文の書き方→形式的な文章への苦手意識を減らす。

【数学・算数】

- ・小学校から中学校に向けて、どのような問題に取り組んだらよいか。
- ・習熟度別の学習の分け方について。

【社会・理科】

- ・AI・ICTの効果的な活用について
- ・教員側のAIのリスクを考える必要がある。しかし、学ぶ場が少ない。
- ・子どもが学び方を獲得していくものとして利用する価値はある。

【外国語】

- ・小中での教員の連携と児童・生徒同士での交流を相談した。
- ・2月中旬頃に、中1が作成した一中紹介動画を各校に送り、児童に見てもらう。

★こころ部会

【道徳科について】

- ・中学校では「自分はどうか」を大切にして授業に取り組んでいる。
- ・一中の道徳実践を共有する。
- ⇒子どもの考えを大切にする授業を行い、子どもから多様な意見を引き出す授業を意識する。
- ⇒そのための中心発問を考える。自分自身の振り返りをする時間を設ける。

【生活指導】

- ・2月20日に小中合同で挨拶運動がある。
- ・一中の生徒が一小と四小に来て挨拶運動の声掛けをする予定である。

【特別支援】

- ・キラリプラスを希望している6年生の児童の情報共有をした。
- ・一中の指導内容の情報共有をした。
- ・一中の固定級から、高校進学に向けてどのような受験ができるのかという情報共有をした。
- ・来年度も引き続き、キラリプラスと固定級に分かれて情報共有をしていきたい。

★からだ部会

【体力向上部会】

- ・各校での取り組み方について情報共有をした。
- ・外部講師の情報を共有した。

【健康な体部会】

- ・SNSやスマートフォンに関する各校での現状を情報共有。
- ・生活リズムの調査について来年度どのようにしていくかを検討した。

○今後に向けて

小中が連携して各教科・部門での協議を続けながら、児童生徒の学びと生活がよりよくつながるように取り組んで参ります。来年度も3部会に分かれての連携や情報の共有更には、児童・生徒間の交流を進めていきます。今後も地域・保護者・学校が協力して児童生徒の成長を支えていければと思います。よろしくお願いいたします。